

2012年9月25日

東京スター銀行

「地域密着型金融への取組み状況」の公表について

株式会社東京スター銀行(東京都港区：代表執行役頭取 CEO 入江優)は、2007年12月に公表した「地域密着型金融に係る具体的取組みの重点事項について」に基づき、2011年4月～2012年3月の取組み状況をとりとめましたので、公表いたします。

東京スター銀行では、「ファイナンシャル・フリーダム(Financial Freedom)/お客さまをお金の心配から解放する」を企業フィロソフィーとして掲げ、中堅・中小企業ならびに個人のお客さまをターゲットに、資金調達・資産運用に関する相談業務を強みとした革新的ビジネスを展開する方針とし、特定分野に経営資源を集中したスピード感のある経営を進め、健全性、収益性を確保しながら業務に取り組んでおります。

今後も、地域金融機関として中堅・中小企業ならびに個人のお客さまの将来に対する不安を軽減し、地域さらには日本経済の活性化に取り組んでまいります。

以 上

公表資料については、次ページ以降をご覧ください。

東京スター銀行「地域密着型金融への取組みの進捗状況について」2011年4月～2012年3月

地域密着型金融への取組みの
進捗状況について
(2011年4月～2012年3月)

2012年9月

東京スター銀行

地域密着型金融に係る具体的取組みの重点事項

2011年度の地域密着型金融に係る具体的取組みの重点事項は下記のとおりです。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- (1) 新事業支援
- (2) 経営改善支援
- (3) M&A/事業再編/事業承継/事業再生

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- (1) アセットファイナンス
- (2) ストラクチャードファイナンス

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- (1) 東日本大震災の復興支援に関する取組み
- (2) 他業態との提携および職域推進
- (3) 地域の利用者ニーズに対応したサービスの提供



2011年度の取組み実績

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

当行は、業種別・地域別・機能別に担当者を設置し、マーケットセグメントや企業のライフサイクルに応じた適切な次のソリューションを提供いたしました。

(1) 新事業支援

- 昨年に引き続き、ヘルスケア、アミューズメント、船舶、不動産など業種別の担当部署を活用し、事業特性とライフサイクルに沿った事業支援を実施する体制としております。
- 日本銀行の施策である「成長基盤強化を支援するための資金供給」を積極的に活用し、成長基盤強化分野への投融資に取り組みました。

(2) 経営改善支援

- 金融円滑化の趣旨に則り、お客さまの経営改善支援に当行のノウハウを最大限活用しました。
- 経営改善支援先を選定し、財務管理のアドバイス、資産負債バランスの改善支援、ビジネスに関する支援等、お客さまの実情にあった改善支援に取り組みました。
- コンサルティング機能を発揮するため、経営改善サポート室の設置・経営改善指導役の選任を行い、またコンサルタント等の専門家や外部機関の協力を仰ぎ、お客さまの経営改善計画の策定や実践をサポートいたしました。

2011年度の取組み実績

(3) M&A/事業再編/事業承継/事業再生

- DIPファイナンスの専門部署を新設し積極的な取組みを行った結果、民事再生法を申し立て再建途上にあった老舗缶詰製造業に対し、DIPファイナンスによる融資枠を設定いたしました。
- 物的担保や保証の有無に依存せず、事業が生み出す収益力/将来性を重視したファイナンス手法を用いた貸出に積極的に取組み、MBO、LBOといった先進的な金融技術を用いたサービスをご提供いたしました。

2.事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

当行は、アセットファイナンスやストラクチャードファイナンスの活用により、中堅・中小企業のお客さまに対するファイナンスの提供とキャッシュフローに基づく信用創造を次のとおり行いました。

(1) アセットファイナンス

- 売掛債権担保融資に積極的に取り組むとともに、100%出資子会社を設立し、同子会社において2010年12月より売掛債権担保融資の取り扱いを開始しております。2011年度の当行における売掛債権担保融資の新規実行は、167件/4,413百万円となりました。
- 2011年12月、電子債権記録事業を展開する企業と協働して、電子記録債権を活用した新たな融資スキームを開発する目的で、同社への融資を実行いたしました。
- 幅広い金融サービス事業の展開を行っている企業、およびさまざまな車両に関する高い専門性を有している企業との間で、動産担保融資に関する業務委託契約を締結し、2012年1月より事業・運転資金に資する「商用車担保ローン」の取り扱いを開始いたしました。



2011年度の取組み実績

■当行では、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みとして、従前よりお客さまのファイナンスニーズに沿ったストラクチャード/アセットファイナンススキームによる資金調達手法の多様化、キャッシュフローに着目したノンリコースローン等に取り組んでおります。

(2) ストラクチャードファイナンス

■ 中小企業のファイナンスニーズに沿ったストラクチャードスキームを提案し、取引における資金調達手法の多様化を図っております。

2011年度の取組み実績

3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

東日本大震災で被災された皆さまの復興を支援する取組みを行いました。また、他業態との提携および職域推進を通じた地域活性化や、商品・サービスの提供を通じた地域経済への貢献に引き続き取り組んでおります。

(1) 東日本大震災の復興支援に関する取組み

- 東日本大震災で被災されたお客さまに対して、専用ダイヤルを設置し、ローン返済等に関するお問い合わせに対応しております。
- 復興応援活動の一環として、仙台において司法書士による無料個別相談会や無料セミナーを企画・開催し、震災によって被害を受けた方々への情報提供を行いました。
- 「右肩上がり円定期(満期日繰上特約付円定期預金)〈仕組み預金〉」にお預け入れいただいた金額の0.1%に相当する額(7,381万円)、月次配送の「スターワン口座取引明細書」を「Web取引明細書」に切り替えていただいたお客さまの人数×100円に相当する額(1,663万円)を、被災地の皆さまにお役立ていただくべく社団法人日本病院会および公益社団法人日本看護協会へ寄付いたしました。

(2) 他業態との提携および職域推進

- 他業態との連携を進めるため、専担部署を設置し、業務提携先を通じたネットワークの拡充に取り組むとともに、より多くのお客さまに対して当行のユニークな商品・サービスが提供できる体制を拡充しております。
- より多くの方々に当行の商品をご利用いただけるよう、職域サービスを拡充しております。

2011年度の取組み実績

3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(3) 地域の利用者ニーズに対応した商品やサービスの提供

- 既存の住宅ローンでは充足できなかった利用者ニーズに応えるため、当行が初めて日本国内において販売を開始いたしました預金連動型の「スターワン住宅ローン」について、2011年度は約3,590件（総額約764億円）の新規案件を実行するに至りました。当該商品の推進は、不動産市況が低迷する中、消費者による購買行動を刺激する点において、地域のマーケット活性化に一定の貢献を成すことができたものと認識いたしております。
- 団塊世代を中心としたシニア層に対し、保有する住宅を担保に融資を実施し、物件の売却資金により債務を清算する方式の新型リバースモーゲージ「充実人生」について、約570件（総額約62億円）の新規案件を実行いたしました。また、マンションでのご利用を希望される方が多いことから、マンションも担保の対象となる地域を段階的に拡大しております。当該商品は、将来不安が高まる中、自用物件を活用することにより、生活不安を軽減するとともに、地域経済における消費刺激にも貢献できたものと認識いたしております。
- 複数の消費者ローンをひとつにまとめ、完済を目指す「おまとめローン」については、約5,650件（総額約108億円）の新規融資を実行いたしました。当該商品は、社会問題ともなっております多重債務問題について、建設的な解決策を呈示することで、地域社会の健全な発展に貢献するものと考えております。
- 全国有力スーパー等へのATM機の設置を積極的に実施し、全国41都道府県において1,973ヶ所（平成24年3月末現在）の店舗外ATMを展開する等お客さまの利便性の向上に努めております。